

県民の皆さまへのメッセージ

<県内の感染状況>

- 先週、過去最多となる 2,000 人を超える新規感染者が確認されるなど、お盆期間以降も新規の感染者は極めて高い水準で推移しています。
- 一週間単位で見ると、若干、感染者の伸びに鈍化の兆しが見えますが、特に高齢者の感染者が増えることに伴い、中等症以上の入院患者が増加しています。このため、今後も病床の占有率は高止まりが懸念されます。
- また、こうした感染拡大により、特に救急医療や発熱外来がひっ迫しており、県内の医療現場では、非常に厳しい状況が続いているのが現状です。

<「B A. 5 対策強化宣言」の延長>

- こうした状況を踏まえ、「B A. 5 対策強化宣言」の期間を 9 月 16 日まで延長することとしました。
- 今回の宣言延長に当たっては、医療提供体制のひっ迫回避のために、新たな対策を追加で行う予定です。そうしたことを踏まえ、県民の皆さまには、以下の点についてご協力をお願いします。

医療提供体制のひっ迫回避に向けた呼びかけ

<発熱外来のひっ迫回避>

- 発熱外来の現場は、感染者数の増加によって大変ひっ迫しています。そのため、外来による受診に代えて、検査キットの無料配布事業や、オンライン診断を活用することにより、発熱外来の混雑を防ぐ取り組みにご協力をお願いします。
- この検査キットの無料配布事業は、朝 9 時までに申し込みをいただければ、当日中に配送されます。

○ そして、検査キットにより、ご自身で検査を行い、陽性になった場合には、軽症で基礎疾患のない方は、できるだけ発熱外来に行くのではなく、オンライン診断を利用させていただくようお願いいたします。

○ 今回、オンライン診断の対象年齢の上限を、今までの 50 歳未満から 65 歳未満までに引き上げ、より多くの方が活用できるようにしました。

また、今までは医師によるオンラインの対面診断を必要としていましたが、書類だけで確定診断を行う手続きも開始することとします。

オンライン診断がより使いやすくなりますので、発熱外来の負担軽減の観点から、できるだけオンライン診断をご利用いただくようお願いいたします。

<救急医療体制のひっ迫回避>

○ 救急の窓口も大変ひっ迫しています。救急の要請は、真に緊急を要する場合に限っていただくようお願いいたします。軽症で救急車を使うことがないようにご協力をお願いいたします。

救急車を呼ぶのか迷った時には、高知家の救急医療電話「#7119」で相談を受け付けていますので、ご活用いただくようお願いいたします。

感染拡大防止に向けた呼びかけ

<県民の外出等>

○ 一週間単位で見ると、若干、感染者の増加に鈍化が見られますが、まだまだ高止まりと言っている状態です。

このため、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を有する方々については、引き続きのお願いとなり申し訳ありませんが、不要不急の外出は極力控えていただくようお願いいたします。

それ以外の方々についても、普段会っていない高齢者の方と久しぶりにお会いになることは極力控えていただくようお願いいたします。

また、お会いになる際には、重症化リスクの高い高齢者の方々などを守っていただく観点から、事前に無料検査などで陰性の確認を行っていただいた上で、お会いいただくようお願いいたします。

- また、外出される際には、基本的な感染防止対策をしっかりと行っていただき、極力、ご家族や普段行動を共にしている方と、少人数での行動を心がけていただくようお願いいたします。

<社会経済活動との両立（無料検査の活用）>

- 例えば、旅行や大人数の会食、こうした社会経済活動と感染防止対策を両立させていくことも必要です。

ワクチン接種を早めに行っていただくことと、無料検査を活用していただくことで、安心して旅行や大人数の会食を行っていただくことができますので、是非、ご協力をお願いいたします。

- 無料検査を活用いただけるよう、JR高知駅前の「臨時無料検査センター」は、9月末まで設置期間を延長しますので、是非、ご活用ください。

<最後に>

- 今週から県内の多くの学校で新学期が始まります。学校を通じてウイルスが家庭に持ち込まれ、感染が拡大することを何としても防ぐためにも、教職員の方々や児童生徒の皆さまをはじめとした、県民の皆さまのご協力をお願いいたします。

基本的な感染防止対策である「マスク・手洗い・三密防止・換気の徹底」に併せて、発熱外来や救急外来のひっ迫回避に向けた取り組みについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年8月29日

高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長
(知事) 濱田省司